

統計調査ニュース

平成26年（2014）6月

No.331



あなたの回答が，日本経済の力になる！ 経済センサス - 基礎調査・商業統計調査

女優 桐谷 美玲

皆さんこんにちは。桐谷美玲です。

この度，平成 26 年経済センサス - 基礎調査・商業統計調査の広報のお手伝いをさせていただくことになりました。

私も全国全ての事業所・企業を対象として実施する経済センサス - 基礎調査と卸売業・小売業を対象として実施する商業統計調査について教えていただき，その調査結果が，行政施策の立案など，国や地域の社会経済の発展を支える大切な基礎資料として広く活用され，私たちの生活にも大きく役立てられていることを学びました。

回答していただく内容の一つ一つが，日本経済の「いま」を知り，そして未来につながる，まさしく「あなたの回答が，日本経済の力になる！」のです。

私が出るテレビやラジオのCM，ホームページ，ポスターなどが多くの方々の目に触れ，調査の回答につながることになれば，とってもうれしく思います。

平成 26 年経済センサス - 基礎調査・商業統計調査の担当者の皆様，一緒に頑張りましょう！

テレビCM



ポスター



目次

あなたの回答が，日本経済の力になる！ 経済センサス - 基礎調査・商業統計調査	1
平成 26 年全国消費実態調査の実施に向けて	2
平成 27 年国勢調査の実施に向けて（その4）	3
家計調査（貯蓄・負債編）平成 25 年（2013 年）平均結果速報の概要	4

第 62 回統計グラフ全国コンクール作品の募集をしています	5
統計資料館からのお知らせ - 企画展コーナー展開中 - ／「アプリ De 統計」の提供を開始しました	6
政令指定都市発とうけい通信	7

平成26年全国消費実態調査の実施に向けて — 前回調査の結果から② —

前号に引き続き、平成 21 年調査の結果から、全国消費実態調査の特色を紹介します。

本号では、貯蓄・負債に関する結果と、貯蓄現在高階級別や年間収入階級別の消費に関する結果を掲載します。

1 貯蓄・負債の現在高

1世帯当たりの貯蓄現在高を地方別にみると、おおむね平均賃金の高い地域で多くなっていることから、フローである収入の多寡がストックである貯蓄現在高に大きく影響を与えていることが確認できます。一方、1世帯当たりの負債現在高を地方別にみると、おおむね不動産の価格が高い地域で多くなっていることから、住宅ローンが負債に大きく影響を与えていることがうかがえます。

(図 1-1、1-2)

図 1-1 地方別 1 世帯当たり貯蓄現在高

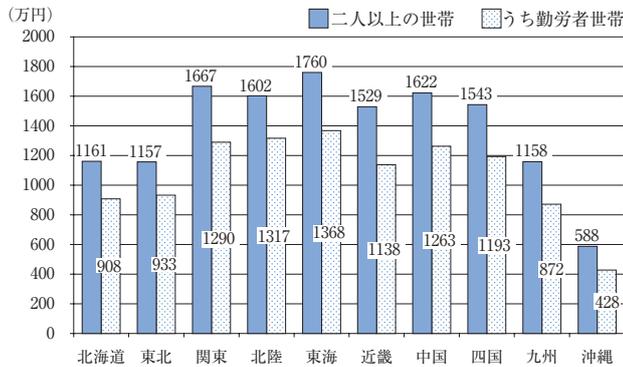
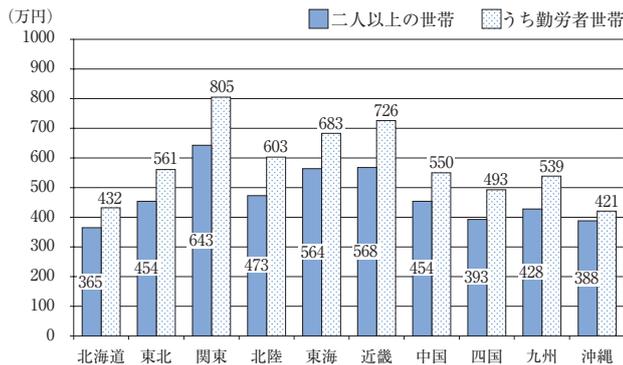


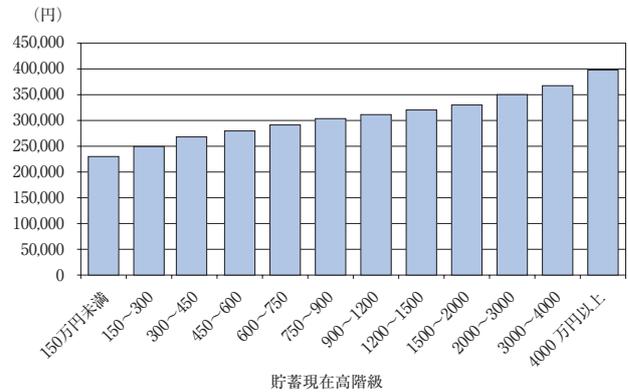
図 1-2 地方別 1 世帯当たり負債現在高



2 貯蓄現在高階級別の消費支出

貯蓄現在高階級別に 1 世帯当たり 1 か月間の消費支出をみると、「150 万円未満」の階級における消費支出は 231,738 円であるのに対して、「4000 万円以上」の階級における消費支出は 399,134 円となっており、階級が高くなるに従って消費支出が増えています。(図 2)

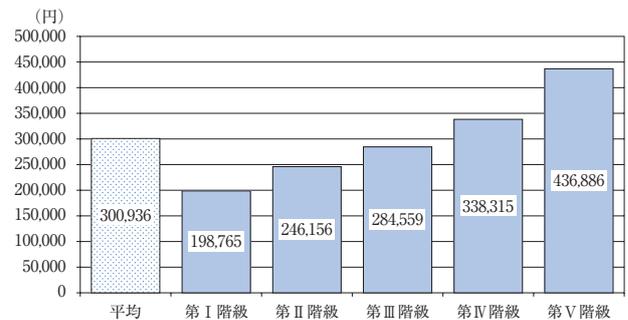
図 2 貯蓄現在高階級別の消費支出 (二人以上の世帯)



3 年間収入五分位階級別の消費支出

年間収入五分位階級[※]別に 1 世帯当たり 1 か月間の消費支出をみると、階級が高くなるに従って消費支出が増えています。第 V 階級は、第 I 階級の約 2.2 倍の消費支出となっています。(図 3)

図 3 年間収入五分位階級別の消費支出 (二人以上の世帯)



※ 収入五分位階級とは、収入の低い世帯から高い世帯へ順に並び、世帯を 5 等分した五つのグループのことで、収入の低いグループから順に第 I、第 II、…、第 V 五分位階級という。



平成27年国勢調査の実施に向けて（その4）

－平成27年国勢調査の主な変更点（案）－

近年、個人情報保護意識の高まり、オートロックマンションやワンルームマンションの増加などにより、調査困難な状況が従来に比べて増加しています。平成27年国勢調査の実施に当たっては、このような環境の中で、調査に対する理解を得て、正確かつ円滑に調査を実施する必要があります。このため、総務省統計局では、調査環境の変化に応じた新たな調査手法の開発や調査事項の見直し、実施環境の整備などを検討してきました。

今回は、調査方法等に関する主な変更点（案）を紹介します。

◇ICTの進展を踏まえたオンライン調査の推進

回答の選択肢を増やすことによって世帯の利便性を高めるとともに、記入状況の改善を図るため、オンライン調査を全国展開することを予定しています。また、オンライン回答を推進するため、調査票の配布に先行して、インターネットの回答期間を設定する方式で調査を実施するとともに、スマートフォンにも対応したシステムを構築することについても準備を進めています。

◇調査員による記入の支援等を円滑に実施するため、任意封入方式による調査票の取集

高齢者世帯の増加に伴って記入の支援が必要な世帯も増えていることから、調査員による記入の支援や確認などを円滑に実施するとともに、記入漏れや誤記入などの記入不備を改善するため、調査票の調査員への提出は任意封入方式とする予定です。

また、インターネット調査、郵送提出、任意ではあるが封入による提出も可能とすることによって、プライバシー意識への配慮も行うこととしています。

◇郵送による調査票の回収は、市区町村ごとの選択制

単身世帯や共働き世帯などの面接困難世帯の増加等に対応するために、調査票の郵送回収を必要とする市区町村が多い一方、記入不備に伴う審査事務の負担増などを理由に郵送回収の見直しを求める市区町村もあることから、調査票の郵送回収については、市区町村の実情に応じ、導入の可否を選択することを予定しています。

◇集合住宅や社会福祉施設等における調査員業務の管理会社・運営法人等への委託

大規模な集合住宅や社会福祉施設等における調査員業務について、規定を整備し、必要に応じて、管理会社や運営法人等への業務委託を可能とする仕組みの導入を検討しています。

◇調査事項・集計について

大規模調査年をみの調査事項である「現在の場所に住んでいる期間」と「5年前にはどこに住んでいましたか」を追加し、東日本大震災の影響を居住期間や移動状況の観点から把握することを予定しています。

一方、簡易調査年における記入者負担の軽減を図るため、「住宅の床面積」を調査事項から削除することを検討しています。

また、産業分類、職業分類の格付けに係る集計事務を見直すとともに、集計体系を再編し、全ての集計結果を公表するまでの期間を短縮する予定です。

なお、調査結果は、少子高齢化の進展に伴う高齢者の人口や労働力状態の正規・非正規職員の別等による雇用状況の把握、増加している単身世帯、外国人の状況の把握、東日本大震災の影響の把握など社会経済の変化に対応した統計の充実を図り、以下の区分において集計し、集計の完了したものから順次、インターネットへの掲載又は結果表の閲覧等により公表します。

(1) 速報集計

- ① 人口速報集計
- ② 抽出速報集計

(2) 基本集計

- ① 人口等基本集計
- ② 就業状態等基本集計
- ③ 世帯構造集計

(3) 抽出詳細集計

- (4) 従業地・通学地集計
- (5) 人口移動集計
- (6) 小地域集計



これからも毎月、平成27年国勢調査の御紹介をします。どうぞよろしく！

セゾアス

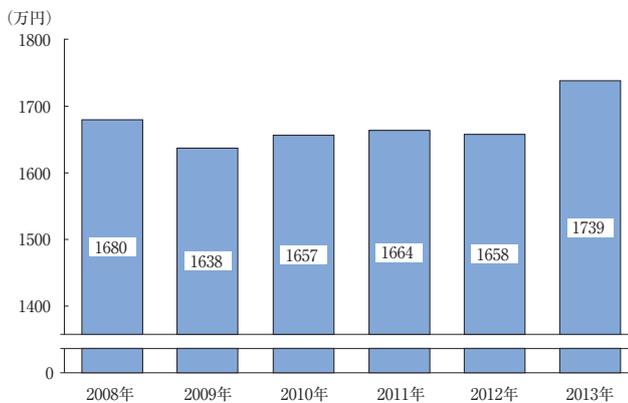
家計調査（貯蓄・負債編）平成25年（2013年）平均結果速報の概要

家計調査では、世帯の収入や支出のほかに貯蓄・負債の保有状況を調査しています。この度、貯蓄・負債編の平成25年（2013年）平均結果速報を平成26年5月16日に公表しましたので、その概要を紹介します。

二人以上の世帯における1世帯当たり貯蓄現在高は1739万円で、前年に比べ81万円、4.9%の増加

2013年平均の二人以上の世帯の1世帯当たり貯蓄現在高（平均値）は1739万円で、前年に比べ81万円、4.9%の増加となり、比較可能な2002年以降で最高となりました。（図1）

図1 貯蓄現在高の推移
（二人以上の世帯）



有価証券が大幅に増加

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が724万円（貯蓄現在高に占める割合41.6%）と最も多く、次いで年金商品を含む「生命保険など」が379万円（同21.8%）、通貨性預貯金が356万円（同20.5%）、有価証券が240万円（同13.8%）、金融機関外が40万円（同2.3%）となっています。

2012年と比べると、定期性預貯金は同水準となっており、「生命保険など」、通貨性預貯金及び有価証券は増加となっています。

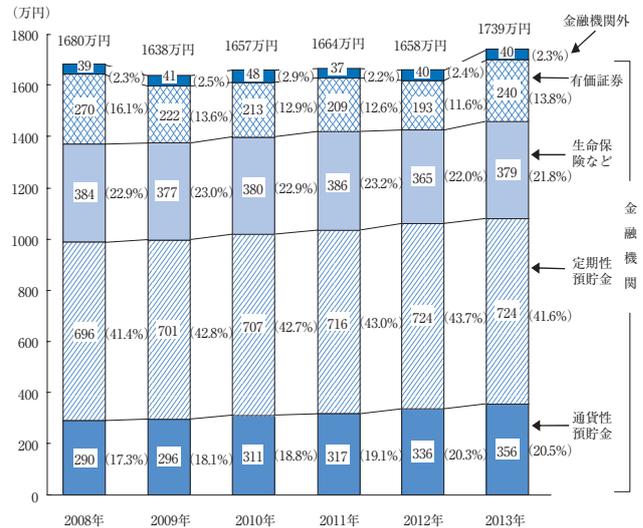
特に有価証券は、安倍内閣が進めている経済政策（いわゆる「アベノミクス」）により、株高^(注)が進んだことなどから、24.4%と大幅な増加となっています。（図2）

(注) 日経平均株価は41年ぶりの上昇率

(終値 2012年12月28日：10,395.18円

→ 2013年12月30日：16,291.31円 …… 57%)

図2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移
（二人以上の世帯）



(注) ()内は、貯蓄現在高に占める割合

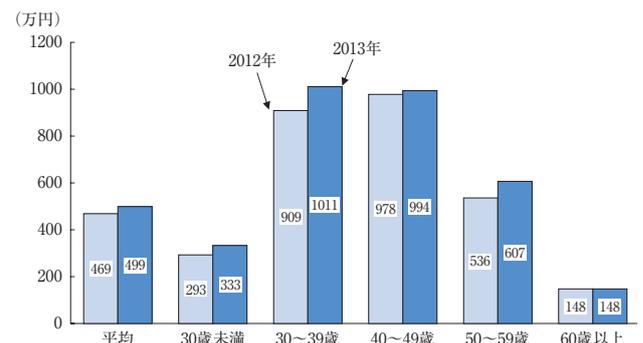
負債現在高が最も多いのは世帯主が30～39歳の世帯

2013年平均の二人以上の世帯の1世帯当たり負債現在高（平均値）は499万円で、前年に比べ30万円、6.4%の増加となっています。

世帯主の年齢階級別に1世帯当たり負債現在高をみると、30～39歳が最も多く、それ以降は階級が高くなるに従って少なくなっています。

また、負債現在高を2012年と2013年で比較すると、2012年は40～49歳が978万円で最も多くなっていましたが、2013年は30～39歳が1011万円で最も多くなっています。（図3）

図3 世帯主の年齢階級別負債現在高
（二人以上の世帯）－2012、2013年－



第62回統計グラフ全国コンクール作品の募集をしています

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆さんに、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されており、今年で62回目を迎えました。

このコンクールは、(公財)統計情報研究開発センター(以下「開発センター」といいます。)が主催し、総務省、文部科学省等の後援及び協賛により、10月18日の「統計の日」の関連行事として実施されています。

昨年(第61回)は、全国の小・中学生から一般の方々まで、25,852作品に及ぶ多くの応募がありました。

特に優秀な作品に贈られる「総務大臣特別賞」に選ばれた作品は、岐阜県大垣市立星和中学校3年(受賞時)の山田 圭悟 さんの作品で、テーマは「終わらない夏～最後の大会に向けて～」[パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)]でした。

「総務大臣特別賞」を含む特選受賞作品の表彰は、平成25年11月13日(水)に「国立オリンピック記念青少年総合センター」(東京都渋谷区)で開催された第63回全国統計大会の席上で、入選作品の表彰は各都道府県で開催された地方統計大会、統計功労者表彰式等の席上でそれぞれ行われました。

また、58点の特選・入選作品は、上記の全国統計大会のほか、「統計データ・グラフフェア」(平成25年10月19日(土)～20日(日)新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催)等の会場において展示されました。

今年も次のように作品の募集が行われています。

皆さんの御応募をお待ちしております。

応募資格

- 第1部・・・小学校1年生及び2年生の児童
- 第2部・・・小学校3年生及び4年生の児童
- 第3部・・・小学校5年生及び6年生の児童
- 第4部・・・中学校の生徒
- 第5部・・・高等学校以上の生徒、学生及び一般
- パソコン統計グラフの部・・・小学校の児童以上

課題

課題は各部とも自由です。

ただし、小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

規 格

各部共、B2判(仕上げ寸法72.8cm×51.5cm、用紙は貼り合わせでもB2判であれば可)です。

提出先・締切日

提出先は、各都道府県統計協会又は各都道府県統計主管課となります。

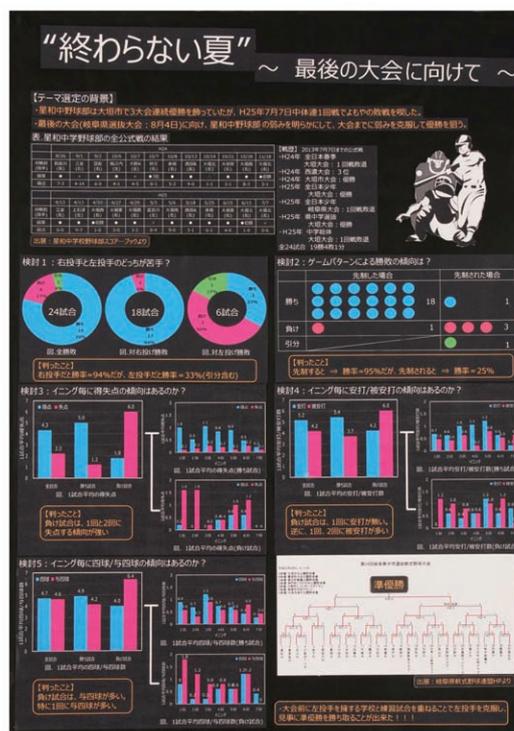
締切日は、各都道府県で異なりますが、おおむね9月上旬となっています。

入賞区分・賞等

各部ごとに特選、入選及び佳作作品が選定され、特選の中から、特に優秀な作品に対しては、「総務大臣特別賞」、「文部科学大臣奨励賞」等が特別賞として贈られます。

締切日や応募方法等の問合せ先

締切日や応募方法等の詳細は、開発センターのホームページ(<http://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html>)を御覧いただくか、同センターまでお問い合わせください(連絡先:03-3234-7478)。



第61回総務大臣特別賞受賞
岐阜県大垣市立星和中学校3年(受賞時)
山田 圭悟 さんの作品

統計資料館からのお知らせ - 企画展コーナー展開中 -

統計資料館は、明治4年の政府統計制度創設120年を記念して平成3年10月18日（統計の日）に開設された広報展示施設です。

統計資料館では、平成25年度から、企画展コーナー「統計データでわかる 日本全国ふるさと自慢」を新設し、全国47都道府県の特徴を示す統計情報等を紹介しています。

このほか、大正9年の第1回国勢調査に関する資料等、統計の歴史が学べる貴重な資料を展示しておりますので、是非御来館ください。

【所在地等】

所在地 東京都新宿区若松町19-1
 総務省第二庁舎敷地内
開館時間 午前9時30分から午後5時まで【入館無料】
休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日及び
 年末年始
電話 03-5273-1187（団体受付：03-5273-1023）
<http://www.stat.go.jp/library/shiryo.htm>



【統計資料館ポスター】



「アプリDe統計」の提供を開始しました

総務省統計局は、いつでも統計データを調べることができるAndroid版アプリ「アプリDe統計」の試行版の提供を開始しました。対象OSはAndroid 4.0.3以上で、無料でダウンロードが可能です。このアプリをスマートフォンやタブレット端末にインストールすることで、現在位置の市区町村の人口や民営事業所数・従業者数、1

か月間の収入と支出などの統計データを調べることができます。

現在、このアプリでは総務省統計局が調査した統計データのみ提供しておりますが、今年の秋頃には各府省の統計データの提供を、今年度中にはiOS版を含め、本格版の提供を予定しております。

City Stat

東京都新宿区の統計	
人口・世帯 - 平成22年国勢調査	
項目名	値
人口	326,309人
男	161,921人
女	164,388人
世帯数	195,434世帯
一般世帯	194,555世帯
民営事業所数・従業者数 - 平成24年経済センサス - 活動調査	
項目名	値
事業所数	32,193事業所
主な産業	
I卸売業、小売業	6,215事業所
M宿泊業、飲食サービス業	6,207事業所
従業者数	
Rサービス業（他に分類されないもの）	108,146人
I卸売業、小売業	101,112人

メニュー画面



とうけいどけい



詳しくはこちら ⇒ http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01toukei01_02000031.html

政令指定都市発とうけい通信②

“初”もの好きな北九州

北九州市総務企画局政策部企画課

○“初”もの“発”もの好き

北九州市は、昨年2月9日市制50周年を迎えました。旧五市（門司、小倉、若松、八幡、戸畑）の対等合併で発足した北九州市。世界初の五市対等合併であったため、国連調査団が合併翌年の1964年4月に本市を訪れました。

世界初に誕生した市ならではの、本市には旧五市時代から『初』『発祥』『〇〇一』と言われるものが数多く存在します。

独特の愉快的口上で有名なバナナのたたき売りは門司港が発祥の地です。1942年に開通した関門トンネルは、世界初の鉄道海底トンネル。本州と九州を繋ぐ『関門橋（1973年開通）』も当時は、東洋一のつり橋でした。また、関門橋に先駆けて開通した『若戸大橋（1962年開通。北九州市制施行1年前）』も、当時東洋一のつり橋でした。1951年に当時の小倉市魚町に日本初のアーケードが誕生し、『銀の天井に輝く街』ということから、『銀天街』の言葉も生まれました。



魚町銀天街の入口には「銀天街発祥の地」を示す碑があります。

○自然豊かな市域

九州北部の角地に位置することから、海岸線が長く、太陽が門司区の海岸（東側）周防灘から昇り、若松区の海岸（西側）響灘に沈みます。周防灘沖にある海上空港『北九州空港』の向こうから朝日が昇る光景は、行き交う船と旅立つ飛行機を美しく映し出します。響灘に面する若松北海岸に沈む夕陽は、神様がヤキモチを妬くほどの美しい夕陽を眺めることができます。

緑豊かな山々にも恵まれ、日本有数の竹林面積である合馬地域の“合馬のたけのこ”は早春の食材として、関東、関西方面の高級料亭に出荷されています。

また、皿倉山（八幡東区標高622.2m）から眺める夜景は、『100億ドルの夜景』とも呼ばれ、新日本三大夜景にも選

ばれています。今年は、この美しい夜景を全国の方にPRすべく、10月10日に「夜景サミット in 北九州」が本市で開催されます。

○食を通じたまちおこしが盛ん☆

市民の地域活動が盛んで、比較的若い世代が積極的に関わっていることが特徴です。近年注目を浴びるようになった、ご当地グルメ対決の手法も、本市のまちづくり団体が行ったイベントがきっかけとなったと言われております。お馴染みの『焼うどん』も小倉が発祥の地で、焼うどんを通じたまちづくりの実績が認められ、2012年10月には『B-1グランプリ in 北九州』（政令指定都市初）を開催し、約61万人の方々にお越しいただきました。これを機に、本市内でもご当地グルメを通じたまちづくりが更に盛んになりました。

○サミット開催！

今年10月3日に、『2014全国餃子サミット & 全国餃子祭り in 北九州』（九州初）を開催いたします！

近代日本の繁栄を支えた製鉄マンのスタミナ源となった八幡ぎょうざ。鉄の街ならではの鉄なべ餃子は、八幡が発祥地です。鉄なべ餃子以外にも、中国本土系餃子など色々な餃子が楽しめるのも八幡ぎょうざの特徴です。サミット開催を



八幡ぎょうざの特徴のひとつ。鉄の街ならではの鉄なべ餃子。

通じて、餃子による地域活性を目指します。また、このサミットを記念して、10月4日、5日に『全国餃子祭り in 北九州～八幡ギョウザ・ワールド～』が開催されます。餃子を通じてまちづくりを行う各団体や、各地域のご当地餃子が味わえるイベントですので、この秋は、是非とも初もの、発もの好きの北九州へお越しください。

2014全国餃子サミット&全国餃子祭りin北九州
<http://summit.yahatagyouza.com/>

最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季調済)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季調済)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人 (Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	全国	東京都区部	
実数	H25.12	127,277	6319	3.7	655,363	100.0	30.5	334,433	754,307	100.9	99.7	
	H26.1	P12722	6262	3.7	298,937	103.9	P27.4	297,070	358,398	100.7	99.3	
	2	P12718	6283	3.6	292,084	101.5	P27.1	266,610	398,281	100.7	99.3	
	3	P12712	6298	3.6	310,777	102.2	P35.7	345,443	358,682	101.0	99.8	
	4	P12714	6338	3.6	P307,726	P99.6	...	302,141	373,090	103.1	101.7	
	5	P12710	P102.1	
前年同月比	H25.12	-	1.5	* -0.2	0.9	* 0.5	2.1	0.7	-2.1	1.6	1.0	
	H26.1	-	0.5	* 0.0	-0.1	* 3.9	P3.0	1.1	-0.5	1.4	0.7	
	2	-	0.7	* -0.1	0.2	* -2.3	P1.9	-2.5	-1.3	1.5	1.1	
	3	-	0.8	* 0.0	1.3	* 0.7	P5.3	7.2	-3.2	1.6	1.3	
	4	-	0.4	* 0.0	P1.4	* P-2.5	-	-4.6	-7.0	3.4	2.9	

(注) P：速報値 *：対前月
 家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値
 サービス産業の月間売上高の前年同月比は、平成25年1月の調査内容の見直しにより生じた段差を調整した値との比較
 ※下線部分を訂正しました。(H26.8.15)

掲示板 統計関係の主要日程 (2014年6月～7月)

《会議及び研修関係》

時期	概要	時期	概要
6月3日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門」(6月)開講(～6日)	7月1日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門」(7月)開講(～4日)
9日	統計研修 統計基礎課程「統計基礎2」(6月)開講(～13日)	7日	統計研修 統計専門・応用課程「国民・県民経済計算」開講(～11日)
〃	統計研修 統計入門課程【通信】「入門1」(6月)開講(～27日)	10日	統計研修 統計入門課程【通信】「入門1」(7月)開講(～31日)
16日	第76回統計委員会	14日	統計研修 統計専門・応用課程「人口推計」開講(～18日)
17日	統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門」(6月)開講(～20日)	〃	第77回統計委員会
23日	統計研修 統計専門・応用課程「調査設計」開講(～27日)		

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
6月6日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成26年4月分速報)公表	7月28日	住民基本台帳人口移動報告(平成26年6月分)公表
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成26年5月分公表	29日	労働力調査(基本集計)平成26年(2014年)6月分及び4～6月期平均(速報)公表
13日	家計調査(家計消費指数：平成26年4月分)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯：平成26年(2014年)6月分速報)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成26年4月分確報)公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編：平成26年(2014年)1～3月期平均速報)公表
20日	人口推計(平成26年1月1日現在確定値及び平成26年6月1日現在概算値)公表	〃	サービス産業動向調査(平成26年5月分速報)公表
25日	統計でみる市区町村のすがた 2014 刊行	〃	サービス産業動向調査(平成26年2月分確報)公表
26日	住民基本台帳人口移動報告(平成26年5月分)公表	下旬	平成25年住宅・土地統計調査 速報集計結果公表
27日	労働力調査(基本集計)平成26年(2014年)5月分(速報)公表		
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成26年(2014年)5月分速報)公表		
〃	消費者物価指数(全国：平成26年(2014年)5月分、東京都区部：平成26年(2014年)6月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(全国：平成26年5月分(東京都区部：平成26年6月分))公表		
〃	サービス産業動向調査(平成26年4月分速報)公表		
〃	サービス産業動向調査(平成26年1月分確報)公表		
7月4日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成26年5月分速報)公表		
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成26年6月分公表		
11日	家計調査(家計消費指数：平成26年5月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成26年5月分確報)公表		
〃	個人企業経済調査(構造編)平成25年結果公表		
22日	人口推計(平成26年2月1日現在確定値及び平成26年7月1日現在概算値)公表		
25日	消費者物価指数(全国：平成26年(2014年)6月分、東京都区部：平成26年(2014年)7月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(全国：平成26年6月分(東京都区部：平成26年7月分))公表		

《統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」開設!》

6月1日、パソコンやスマートフォンを利用して、データの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でも気軽に学べるサイト「データサイエンス・スクール」を統計局ホームページに開設しました。
 ⇒ <http://www.stat.go.jp/dss/index.htm>

この記事引用する場合には、下記にあらかじめ御連絡ください。

編集発行  **総務省統計局**
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計情報システム課
 統計情報企画室 情報提供第一係
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
 ホームページ <http://www.stat.go.jp/>
 御意見・御感想をお待ちしております。